

USE REPORT 2026

～ USEの今をお届け～



【特集】

～ようこそ、私たちの街へ！～

名古屋・大阪・広島・福岡の
4つの拠点から届ける、オフィスと日常

よく見かける
この **絵** って？



「赤富士」は日本画家・小松均の作品。
1990年に創業者である吉弘京子が一目ぼ
れして購入し、その後の事業拡大や困難な仕
事の成功など幸運を呼び込む象徴として大切に
されています。原画は社長室に飾られています。

編集後記

いつも広報誌をご覧いただきありがとうございます。
今号の特集「ようこそ、私たちの街へ！」では、取材のため4つ
の拠点に足を運びました。働く社員の普段の様子が、誌面を通
じて少しでも伝われば幸いです。この広報誌は、皆さまと会社をつ
なぐ大切な場所です。ページをめくるたびに新しい発見があるよ
う、心を込めて作りました。ぜひ、今号を読んだご感想や、皆さ
まの声をお聞かせください。次号もさらにパワーアップしたものを
届けるよう頑張ります。

USE REPORT編集担当：郡司

PRESIDENT'S MESSAGE

社長メッセージ



「幸せへの道」のその先へ
～共に創るUSEの未来～

社員のご家族の皆様へ

日頃より、当社社員を温かく見守り、支えていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。社員一人ひとりが安心して仕事に向き合い、新しい挑戦を続けることができるのは、ひとえにご家族の皆様の深いご理解と支えがあつてこそと、改めまして深く御礼申し上げます。

おかげさまでUSEは、本年創立56周年を迎えました。そして現在、中期経営計画「USE 2026ビジョン～幸せへの道～」の集大成となる、大変重要な節目の年を歩んでおります。昨年度におきましては、皆様の支えのおかげで、

過去最高となる増収増益を達成することができました。業績を牽引した要因のひとつとして、電力インフラや中央省庁向け基盤システムなど、社会の根幹を支える重要案件を無事に完遂できたことが大きな原動力となりましたが、これも社員一人ひとりの責任感を持って努力を積み重ねてくれた成果です。そして、皆様が支えてくださっている社員たちは、「当たり前の日常」を最前線で支える、社会にとってなくてはならない存在であり、その真摯な仕事ぶりがお客様からの揺るぎない信頼につながり、今日のUSEの基盤を作っています。

また、昨年度は「株式会社ソデック」および「コアITソリューションズ株式会社」が新たにUSEグループへ加わりました。新しい仲間との出会いを大切にしながら、それぞれの強みを融合することで、USE単体では実現できない新たな価値創造へと挑戦してまいります。

現在、世の中は大きな変革期を迎えています。特にAIの進化は、単なる技術革新に留まらず、仕事の在り方や企業の姿そのものを大きく変えようとしています。私たちはこの「AI革命」を大きなチャンスと捉えています。AIを単なる道具ではなく、共に働く「新しい仲間(デジタルワーカー)」として活用する「AIネイティブ企業」への変革を進めています。そして目指しているのは、AIと共に、そしてお客様と共に、新しい未来を創り上げていく「共創型企业」です。社員一人ひとりがAIを活用し、新たな価値を生み出すプロフェッショナルへと成長していけるよう、会社としても積極的な投資と環境整備を進めています。

社内では、学びを動画で共有し合う文化（USE Knowledge Cast）が定着しているほか、USE初企画となるビジネスアイデアコンテスト（USE Frontier X Challenge）への挑戦、外部（JISA）の技術コンテストへの参加、最新技術を研究するワーキンググループ活動など、自ら学び、自ら考え、高め合う「自律と和」の文化が大きく広がっています。また、仕事の場だけでなく、人と人とのつながりもUSEの大切な財産です。野球部の渋谷区大会6連覇や、サッカー部の無敗昇格など、部署を超えて仲間同士で喜びを分かち合い、支え合う温かい文化も、USEらしさそのものであると感じています。

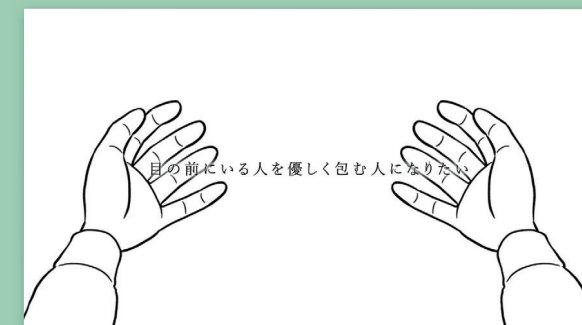
「人を大切にし、誠実に歩む」この創業以来の想いは、時代がどのように変わっても、決して変わることはありません。これからもUSEは、社員一人ひとりが心身ともに健康で、

いきいきと働き、成長し続けられる会社を目指してまいります。そして、これからのAI時代においても、社会に必要とされる企業であり続けられるよう、グループ一丸となって挑戦を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。あわせて、ご家族皆様のご健康とご多幸を深く祈念申し上げます。そしてこの本冊子を通じて、現在のUSEの取り組みや、社員たちがどのような想いで日々挑戦しているのかを、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

代表取締役社長 吉弘三男

ユー・エス・イー ブランドムービー

「人と人」



社員一人ひとりを支えてくださっている皆様にも、USEが大切にしている「人と人のつながり」や、その根底にある想いを感じていただけるよう、ブランドムービー「人と人」をご覧ください。幸いです。

動画はこちらの二次元コードから！



● 2025年度の振り返り

全社一丸となり大きな目標を達成！

2025年度は、会社全体で目標に向かって全力で走り抜けた、非常に実りの多い1年となりました。

01

過去最高の業績を達成

社員の日々の努力が実を結び、売上高は **152億円**（経常利益10億円）を記録し、目標を大きく上回る過去最高の業績を達成することができました。



02

社内ナレッジの「質」向上と社外発信への挑戦

社員同士が気軽に情報を共有し合い、学び合える動画プラットフォーム「USE Knowledge Cast」では「質」向上に挑み、評価観点の整理やAI活用方法等、今年度は計**95本**の動画を公開しました。その事例や技術を広く社外へとYouTubeで発信していく取り組みを本格化させました。

「USE Knowledge Cast」の動画はYouTubeチャンネルへ



03 AIネイティブ企業を目指す

すべての社員がAIを自然に使いこなせる企業を目指し、社内の仕組みを整えました。

STEP 01

情報管理を徹底し、全社員が日々の仕事で安全に使える社内専用AI「Aris」を活用しています。また、開発用のAIエージェント「Cursor」をはじめとする生成AIツールも社内標準として配備しました。

STEP 02

技術リーダーへハイスペックPCを配備してAIを業務に組み込んだほか、プロジェクトの管理表データの作成を自動化をすることで、経営判断の迅速化など、具体的な業務変革を推進しました。

STEP 03

部署の枠を超えた勉強会の実施、若手エンジニアを中心としたJISA技術コンテストへの参加、AIをテーマにしたアイデアソンの実施など、社員のスキルと組織の力を高めています。

● 2026年度の方針

AIと共に新しい未来を創る会社へ

私たちは「挑戦と行動」をベースに、ただAI（人工知能）を使うだけの段階から一歩進んで、「お客様と共にAIを使い、新しい未来を創り出す（AI共創型エージェントコンシェルジュ）」という次のステージを目指します。この目標を達成するために、次の「5つの柱」を中心とした新しい取り組みを進めていきます。

1 開発スピードの向上

AIを活用してユーザーの意思決定を促進するとともに、これまでにないスピード感でシステムをお届けする「爆速開発」を実現します。

2 人事・教育の再定義

人財育成を定義し直します。自ら深く学ぶ「探求心」と、「知的馳走力」を持ち合わせ、お客様と共に新しい価値を創り出せる社員を育てる仕組みを構築します。

3 事業の再定義

これまでの「ITコンシェルジュ」から、AIへの深い理解と経験をもとに、お客様の一歩先を行くAI技術や新しいサービスを提供する「AI共創型エージェントコンシェルジュ」へと進化します。

4 社内環境の整備

日々の業務を賢くサポートしてくれる「AIエージェント」の整備を進め、社員がより効率的かつスムーズにAIと協力して働ける環境を整えます。

5 組織文化の育成

AIが目まぐるしく進化する中で、必要な情報を自ら「探し」、深く「学び」、実際の仕事で「試してみる」。この一連の行動を、当たり前に行い、前向きで活気のある文化として社内に根づかせていきます。

FOUNDER'S MESSAGE

創業者メッセージ



挑戦をし続ける企業文化と

社員とその家族を大切にする経営姿勢

社員のご家族の皆様へ

日頃より社員を温かく支えてくださり、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあるからこそ、社員たちは日々安心して挑戦を続けることができております。

■AI時代も変わらないUSEの強み

昨今「AIにシステムエンジニアの仕事が奪われるのでは」とご心配の方もいらっしゃるかもしれません。どうかご安心ください。USEの最大の強みは、「新しいことへの挑戦をし続ける企業文化」と「社員とその家族を大切にする経営姿勢」にあります。バブル崩壊もリーマン・ショックも、この力で乗り越えてまいりました。AI時代も同じです。AIは社員の仕事を奪うものではなく、共に未来を創る仲間—いわば「社員の一人」なのです。

■会社の成長はしっかりと社員の皆さんへ還元していきます

皆さんの頑張りで利益率が大きく向上し、かねてより中期経営計画「USE 2026ビジョン～幸せへの道～」でお約束していた「お給料1.3倍」の目処がしっかりと立ちました。今は短期的な規模拡大より、AI時代に社員が第一線で活躍するための教育と環境整備に力を注いでまいります。社員の皆さんとのお約束は、決して変わりません。

■「世界のUSE」というムーンショットへ

USEはAIにいち早く全社的に取り組み、各方面からも注目されている企業であります。その上で、USEは次なるムーンショットに挑みます。

USEは創業以来、NTT事業、ERP、クラウドと、時代の変化に果敢に挑み成功を重ねてきた会社です。その新たな挑戦の一つとして、先日の全社キックオフにてNTTの「IOWN（アイオン）構想」という日本発の国家的プロジェクトへの取り組みを社員の皆さんへお伝えいたしました。こうした新たな領域への挑戦を、全社のあらゆる現場から積み重ねていくことが、USEの未来を切り拓く力になると確信しております。

社名「USE=Universal Systems Engineering」の「ユニバーサル」には、創業時から「世界を舞台に羽ばたきたい」という志が込められています。一人ひとりの現場での挑戦が、やがて「世界のUSE」へとつながっていく——これが私たちのムーンショットです。社員の皆さんが安心して、いきいきと活躍できるよう、会社が責任を持って全力で支えてまいります。これからのUSEの未来に、どうぞご期待ください。

代表取締役創業者会長

吉弘京子

ようこそ、私たちの街へ！

「地方の支社について、もっと知りたい!」そんな読者の皆さんの声にお応えして、今年は一味違う特集をお届けします。

私たちが働く場所は、本社だけではなくありません。今回は、中部（名古屋）・関西（大阪・広島）・九州（福岡）の4つの拠点をクローズアップ!それぞれのオフィスの案内人が、普段は見られないオフィスや、こだわりが詰まったデスク周り、そして日々のエネルギーの源である「等身大のランチ」まで、たっぷりナビゲートします。

名古屋編

案内人はこのお2人!



山口 秀樹さん

ビジネス第一の管理作業と顧客への営業活動を行っています。営業では東京から大阪まで広範囲でお客様をカバーするため飛び回っています。



佐藤 敬汰さん

人事システム支援としてお客様のシステム導入にむけた方針検討、要件の整理等上流SE作業を行う予定です。

「鉄板ランチ」はなんですか？

中華料理店「シルクロード」が定番です。ここでは、ラーメンセットの「タンタンメンとチャーハン」をよく注文します。ランチメニューは全体的にハズレがなく、どれを選んでも美味しい印象です。個人的には「鶏肉味噌炒め」もおすすめです。会社周辺では路上販売のお弁当屋さんがいくつかあり、会社のすぐ近くで販売されているお弁当をよく利用しています。600円ほどで満足感のあるボリュームと豊富なメニューが魅力です。(山口)



自分たちの支社の「温度感」を一言で表すと？

一言で表すなら「実家」です。中部支社の名古屋拠点は現在規模拡大中ですが、まだ恵比寿ガーデンプレイスタワーオフィスのような大きさは無いため、支社で働く方の顔と名前は当然漏れなく全員分かります。その恩恵として、人と人との繋がりが強くアットホームな雰囲気があると思っています。(佐藤)



「うちの支社っぽいな」と感じるものはなんですか？

フロントにあるソファです。この下で飲みに行く待ち合わせをしています。座り心地がいいですよ!(佐藤)



中部支社のランチについてはオープン社内報の記事へ!



仕事終わりに、ふと立ち寄りたくなる「場所」はありますか？

残業した日は、家に帰ってから料理をする気力がなくなってしまうので、帰りに「一蘭」へ立ち寄ることがあります。ただ、一蘭は海外からのお客さんにも人気で混雑していることが多いため、そんな時は名古屋駅方面の地下街「ユニモール」を通って、「和幸」に行くのが定番コースになっています。(佐藤)



取材者コメント:郡司(広報)

「実家のような安心感」がありながら、「これから拡大していく成長のエネルギー」にも満ちている——そんな熱量の高さが印象的な拠点でした。案内役のお二人の息もぴったりで、名古屋駅の地下街「ユニモール」の定番ルートをはじめとする地元愛あふれるエピソードに、終始笑顔がこぼれる温かい取材となりました。

大阪編

案内人はこのお2人!



勝田 蒼汰さん

教育機関向けの卒業生管理システムや、通信業界向けシステムの環境移行業務に携わっています。



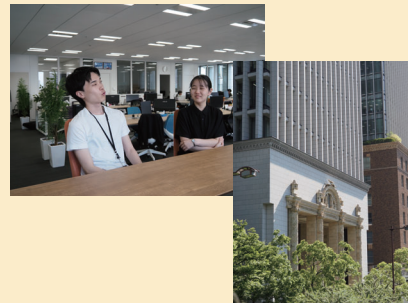
上西 あかりさん

ウェブシステムの画面設計を担当しています。地方公共団体の福祉サービスの管理・会計システムに携わっています。



自分たちの支社の「温度感」を一言で表すと？

静かで落ち着いた雰囲気ですね。集中して業務に取り組む空気感が強く、オフィス内が静かになりやすいため、適度にリラックスできるようBGMを流しています。(上西)



支社の皆さんがつい気にしてしまうことはなんですか？

窓から見える阪神高速の渋滞状況です!夕方は混でるのが窓際から見えますよ (勝田)



「鉄板ランチ」はなんですか？

「響 中之島フェスティバルプラザ店」の牛すき焼き膳です!鯛飯が食べ放題で、おなかいっぱいになります。何回も先輩に連れてきてもらいました!新人が配属されたお祝いなどに使います!(上西) 路上販売のお弁当もおすすめで、週3回は利用しています!(勝田)

仕事終わりに、ふと立ち寄りたくなる「場所」はありますか？

週末など時間を気にしなくて良い時には、グラングリーン大阪に行くことが多いです。芝生が生えていて気持ち良いので気分転換によく利用しています。また関西支社の近くに美術館があるので前を通ったら中をちらっと見ることが多いです。結構人気なんですよ!(勝田)



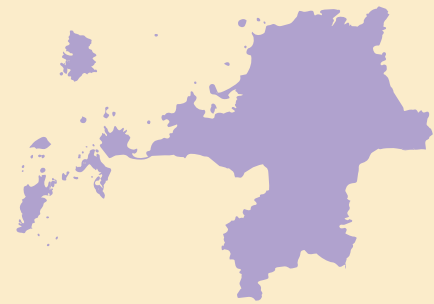
大阪のオフィスについてはオープン社内報の記事へ!



取材者コメント:郡司(広報)

「静かで落ち着いた集中空間」が広がっていた関西支社。ですが、窓の外を覗くと阪神高速の渋滞や道頓堀へと続く川など、一気にディープで愛おしい大阪の街並みが目に飛び込んでくるギャップが最高に魅力的でした!取材の際に大阪らしい気さくでユーモアあふれる案内人のお2人のファンになってしまいました。

ようこそ、 私たちの街へ！



福岡編



案内人はこのお2人！



藤井 美雪さん

電力会社向けシステムの開発・運用プロジェクトにおいて、プロジェクトマネジメントを担当しています。

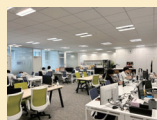


平野 翔大さん

電力会社向けシステムの開発・運用プロジェクトにおいて、チームリーダとして設計・開発・テスト等を担当しています。

自分たちの支社の「温度感」を一言で表すと？

アットホーム&明るいです。支社長をはじめとして、明るく、支社全体がとても話しやすい雰囲気です。年2回の誕生日会では、執務チームがゲームを企画してくれるのですが、その時もみんなでしっかり盛り上がっています。(平野)



実はここが一番落ち着くという場所はどこですか？

2つあるんですが、1つ目は、窓際の座席です。見晴らしがよく、博多駅のすぐ側なので新幹線も見ることができます。気分転換に最適です！2つ目はファミレス席です。奥まわっていて、集中したいときやちょっと休憩というときに利用しています。(藤井)



「鉄板ランチ」はなんですか？

「中世うどん」です！博多のうどんといえば、ごぼう天。うどん屋によって違うので、食べ比べも面白いですよ！(平野)



ドヤ顔で自慢したくなるポイントを教えてください！



自称・小栗旬似のイケメン支社長がいることです（笑）。支社長がいるだけで場が明るくなり、オフィス全体が活気づきます。もう一つの自慢は、屋上からの景色の良さです。天気の良い日は屋上でお弁当を食べると、とても気持ちがよく、リフレッシュできます。(藤井)

福岡のオフィスについては
オープン社内報の記事へ！



取材者コメント：清水（広報）

オフィスに一步足を踏み入れた瞬間から、支社長の豪快で大きな笑い声が出迎えてくれた九州支社。案内人の藤井さん、平野さんをはじめ、皆さん本当に気さくで、博多の美味しい「ごぼう天うどん」や「博多めん街道」のラーメン談義で大いに盛り上がった楽しい取材となりました。

広島編

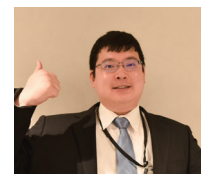


案内人はこのお2人！



平木 伸武さん

電力会社向けシステム構築支援や、建設コンサルタント向けシステムの保守・運用に携わっています。



上領 優太さん

電力会社向けシステム構築の受け入れ試験やユーザ支援、開発会社との調整に携わっています。

チームワークを高めるために工夫していることはありますか？



普段はそれぞれ別のお客様のオフィスで頑張っているメンバーが多いので、みんなの絆を深めるために、定期的に顔を合わせる時間を大切にしています。まだスタートしたばかりの拠点ですが、これからメンバーみんなで心をひとつにして、最高のチームワークを築いていきたいと思っています！（平木）

仕事終わりはどのように過ごしていますか？



子供のために早く帰ります。新しい道ができたから早く帰れて嬉しいです。(平木)
私は、すぐ家に帰って料理を作ります（笑）得意料理はカチョ・エペペです。九州にいたときにチーズ屋さんに行って教えてもらったんです。今はこちでも行きつけにできるような、素敵なチーズ屋さんを探しているところです。(上領)

「鉄板ランチ」はなんですか？



広島のお好み焼き「麗ちゃん」です。東京勤務時代に広島へ帰省したときに通っていたお店が新しくなった広島駅ビルにあったんです！行ったときにはお好み焼きにお肉、卵、そば、もちをトッピングします。(平木)

実はここが一番落ち着くという場所はどこですか？

デスクです。フリースペース等ありますがやはりデスクが一番落ち着きます。(平木)



取材者コメント：清水（広報）

今回案内して下さった平木さんと上領さんは、お話しているだけでこちらまで心がじんわり温かくなるような、とても気さくで素敵なコンビでした！オフィスでお客様のすぐ隣に席があり、みんなで一緒に仕事を進めるという「壁のない空気感」がとても印象的で、お二人の誠実な人柄がそのまま会社の信頼に繋がっているのだと実感しました。

2025年7月

台湾のマイメイトと当社がMOUを締結

7月28日から30日にかけて、台湾のGDDAが当社を訪問しました。滞在中には、マイメイトとのMOU（覚書）を締結し、新しいビジネスの模索をしています。



2025年7月

広島サテライトオフィス開設

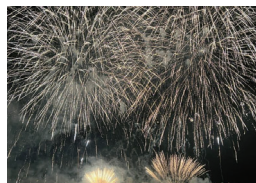
7月7日、広島勤務の社員は長年お客様先に常駐しながら事業を継続していましたが、このたび、働きやすい環境づくりの一環として、広島サテライトオフィスを開設しました。



2025年8月

筑後川花火大会で特大花火を打ち上げ

8月5日に福岡県久留米市で「筑後川花火大会」が開催されました。当社は昨年に引き続き、特別協賛として、『繋ぐ』と題した超特別大早打スペシャル花火を提供しました。



2025年9月

新会社 コアITソリューションズ株式会社(CITS) が始動

9月2日付けで、当社は、NIYUグループ・縁エキスパート株式会社と協業し、新会社 コアITソリューションズ株式会社を設立しました。IT人材派遣・アウトソーシング・再雇用支援を通じて地域のDXを支えるUSEグループの新たな挑戦です。

2025年10月

Salesforce事業の強化に向け、株式会社ソデックを完全子会社化

10月2日に株式会社ソデックの全株式を取得しました。Commerce CloudやMarketing Cloud領域に知見を持つSalesforce認定パートナーであるソデック社とともに、両社の技術力と顧客基盤を融合し、さらなる成長を目指します。

2025年9月

国立国会図書館に社史が収蔵

当社50年史「USE50年のあゆみ」と吉弘京子の自叙伝「挑戦と行動」が9月11日、国立国会図書館に収蔵されました。現在、両書は国立国会図書館をはじめ、全国13カ所の公立図書館および大学図書館に所蔵されています。



注目

2025年10月

中部支社が事業拡大により、内部増床

10月20日、事業拡大に伴い、現在の入居ビル（アルティメイト名駅2nd）にて隣室を新たに統合し、ワークスペースを拡張しました。今回の拡充を機に、より一層のサービス向上と事業発展に努めます。

2025年10月・11月

**野球部の渋谷区大会6連覇
サッカー部のリーグ優勝**

野球部は10月14日、秋季渋谷区大会で接戦を制し6連覇を達成したほか、天皇賜杯東京都予選でもベスト8の好成績を収めました。また、サッカー部は11月16日、東京都社会人サッカー 3部リーグで無敗優勝を達成。悲願のリーグ優勝と昇格を果たしました。



2025年11月

ASPIC創立25周年式典で3つの功労賞を受賞

11月19日、日本クラウド産業協会（ASPIC）創立25周年記念式典において、当社のクラウド産業発展への長年の貢献が評価され、代表取締役社長の吉弘三男が当社を代表して「創業期からの功労賞」を受賞しました。また当社代表取締役会長の吉弘京子は「創業期からの功労賞」、専務取締役の前田博隆は「事業展開期からの功労賞」を個人として受賞しました。



2026年3月

**官公庁等への豊富な導入実績が
評価されAWS上位資格へ昇格**

3月3日、AWSパートナーネットワークにおいて上位資格の「AWSアドバンストティアサービスパートナー」に昇格しました。一昨年の認定以降、官公庁を中心とした多数の導入実績や高度な技術力が高く評価された結果です。今後も最先端のクラウド技術と当社の知見を最大限に活かし、クラウド領域での事業拡大を一層推進していきます。

2025年12月

家族と楽しむクリスマス会が復活!

12月20日に約6年ぶりとなるクリスマス会が行われました。オフィスツアーや豪華なランチ、ロボットプログラミング体験などを通して社員と家族が楽しく交流しました。プレゼント贈呈や家族写真撮影も行われ、笑顔にあふれた素敵なひとときとなりました。



注目

社内における

IT活用最前線



2026年、生成AIは単なる「便利なチャットツール」を超え、私たちの業務や日常生活を根本から変えるデジタルワーカーへと進化しています。今回は、社内における具体的なAI活用事例をご紹介します。

1 専門知識ゼロ・短納期の大ピンチをAIとの対話で乗り越える！

他の仕事もたくさん抱える中で、「約1カ月で提案書を完成させる」という、高い目標に取り組みました。急なプロジェクトの引き継ぎにより、経験の浅い分野の膨大なシステムの仕様要件（130項目以上）を短期間で精査しなければならない緊迫した状況。そこで社内AI「Airis」をフル活用しました。その結果、目標の期間で提案書を完成させお客様からも大絶賛されました。



ITビジネスサポート：細川 直暉さん

2 対話の先へ行くAIあらゆる日常アプリと繋がる新時代へ

AIの進化について、有菌さんから興味深い話を聞きました。これからは、AIが色々なアプリやシステムと「直接つながる」ようになります。例えば、必要な情報が記載されているファイルを探し出してくれたり、メールの要約から返信・送信・書類の保存まで一気にこなしてくれたり——。まるで優秀な秘書が仕事を進めてくれるような未来が、すぐそこまで来ていると感じました。



クラウド開発第一：有菌 大樹さん

オープン社内報の記事で、有菌さんがAI活用について詳しく話しています！



3 エンジニアではない社員まで！「やりたい」をその日に形にする、AI相棒の頼もしさ

システムを作る専門の部署ではなく、普段はバックオフィスで会社を支える管理部門のメンバーの中に、驚きのスタイルを実践している人がいます。郡さんは、日々の業務の中で「こんなツールがあったら便利だな」と思いついたその日に、AIに相談して自ら形にしています。実際に、予算の管理ツールや、複数の書類を突合する自動レポート出力ツールまで、実用的な仕組みを次々と一人で構築しました。



財務部：郡 優人さん

誰でもすぐ使える！



こんなAI活用どう？



ぜひご家庭でも、OpenAIの「ChatGPT」やGoogleの「Gemini」などの生成AIツールを活用し、AIとの新しい対話を楽しんでみてください。新たな発見やアイデアが生まれるきっかけになるかもしれません。

お母さん・お父さんへ

★「制約条件」を厳しくつけるとより良い回答が出力されます★

【相談内容】

3人家族の1日分の夕飯献立を作って。
【条件】：調理30分以内、フライパン1つで完結、同じ食材の連続使用不可

【回答内容】

【メイン】鶏むね肉のガーリック醤油ソテー【使用食材】鶏むね肉、ブロッコリー、エリンギ【ポイント】フライパン1つでサッと炒めるだけで、ガツンとご飯が進むおかずになります。

お子様と一緒に

★「小学生」と指定することで、よりわかりやすい解説を引き出せます★

【相談内容】

ニュースで聞いた『インフレ』ってどういう意味？小学生にわかるように教えて！

【回答内容】

インフレとは、ものの値段がだんだん上がっていくことです。例えば、100円で買ったお菓子が120円になるような状態をいいます。そうすると、同じお金でも買えるものが少なくなってしまう。

家族みんなで

★AIでは表も出力してくれるため形式を指定してみてください★

【相談内容】

家族3人でいく日帰りドライブの予定表を作って。時間・場所・見どころが一目でわかる『表』の形式で出力して

【回答内容】

時間	場所	見どころ
9:00	自宅出発	朝のドライブスタート！景色を楽しむ
10:30	サービスエリア	軽く休憩・ご当地グルメ
11:30	観光スポット（公園・名所）	写真スポット・事前撮影
13:00	ランチ（レストラン）	家族でゆっくりご飯
14:30	近くのカフェや道の駅	お土産探し・デザート

どなたでも

★「3行の箇条書き」と上限を決めることで、無駄な文を省いてくれます★

【相談内容】

Tシャツの頑固な黄ばみをきれいに落とす方法を、3行の箇条書きで教えて

【回答内容】

- ・ぬるま湯に酸素系漂白剤と粉末洗剤を溶かす。
- ・黄ばんだシャツを30分から1時間ほど浸け置きする。
- ・あとは、洗濯機に入れて回すだけできれいに落ちます。

安心して使うために

- ① **個人情報を入力しない**：住所・電話番号・学校名などは入力しないようにしましょう
- ② **情報はうのみにしない**：AIの回答は必ずしも正しいとは限りません。大切な内容は確認を
- ③ **お子さまの利用は保護者と一緒に**：一緒に使いながら「どう活用するか」を共有するのがおすすめです
- ④ **困ったときは使い方を見直す**：違和感を感じたら、一度立ち止まって使い方を調整しましょう

福利厚生

Employee Benefits

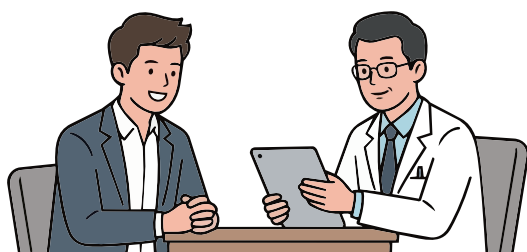
USEでは、社員とご家族が「将来も安心して長く働ける環境」の実現に向けて、福利厚生の大幅な拡充を進めています。若手の経済的支援から万が一の医療サポート、家族手当の強化まで、私たちが今最も力を入れている3つの新しい取り組みをご紹介します。

1 奨学金返還支援制度がスタート

新しく奨学金の返還支援を始めました。入社2年目から最大10年間、会社が返還額の一部をサポートします。

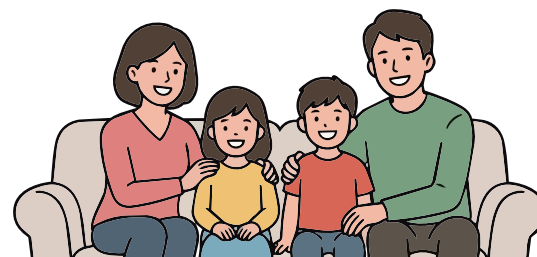


奨学金返還支援制度をもっと詳しく知りたい方はオープン社内報の記事へ！



2 3大疾病団体保険を導入

社員が安心して働けるように、「3大疾病サポート保険（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）」を導入しました。大きな病気になったときの経済的・精神的な負担を軽くし、治療に専念できるようにするための制度です。保険料は会社が全額負担し、正社員・契約社員の全員が対象です。持病がある方も加入しやすいよう配慮しています。



3 扶養手当の見直し

社員とご家族がライフステージの変化を迎えても、安心していきいきと働ける環境づくりを進めています。その一環として扶養手当の支給基準を見直し、扶養家族がある場合に月9,000円を新たに加算、全体の支給上限も月3万円から月4万円へ引き上げました。



保養所が
たくさんある中で
特にUSE社員に
人気の保養所です！

TJK箱根の森

神奈川県・箱根

箱根 彫刻の森美術館の隣にある保養所

家族も嬉しい福利厚生！ 今週末はリゾート保養所へ

USE社員とご家族は、TJKの手厚い福利厚生（直営・借上保養所）をメンバー限定の特別価格で利用することができます。※具体的な利用申請や空き状況の確認は、社内ポータルに掲載されている「TJKリゾート予約サイト」から、社員本人がWEBで簡単に手続きを行えます。

保養所については
オープン社内報の記事へ！



【USE社員】
藤山さんご家族がTJK利用！

行ってみたら想像以上に大満足！家族みんなで思いっきりリフレッシュできました。次のお休みはどこに行こうか、もう計画中です！家族だけで利用できる『ファミリー利用制度』があるのも、USEならではの自慢です。

USEの未来を担うグローバル人財

ベトナム出身社員座談会

ここ数年、USEでは優秀な人材の確保を目的に、ベトナム出身社員の採用を積極的に進めています。2023年に、中途採用1名から始まったこの取り組みは、2024年に新卒3名、2025年には8名へと拡大。今年は、ベトナムの大学から直接入社した5名に加え、日本の専門学校を経て入った1名の計6名が加わりました。今回、1年目を迎えた2025年入社のベトナム出身社員4名に集まっていただき、日本で働く理由や来日後に感じた驚き、USEの好きなどところなどについて率直に語っていただきました。

技術力が高い日本で努力し成長したいと思いました

—なぜ母国ではなく、日本での就職を選ばれたのですか？

ヴィン もともと、日本の文化や働き方に興味がありました。それに、日本の職場はとてもプロフェッショナルで、学べることも多いと思ったからです。

フェン 大学の友達や先輩に日本で仕事をしている人がたくさんいて、その社会人生活について聞く機会が多かったです。とても興味深かったので、まずは留学し、その後、働くことにしました。

トゥ 技術力が高い日本で努力し、成長したいと思ったからです。

ダット 日本の技術力や、品質に対する意識の高さを感じていました。その環境で働くことで自分のスキルも高めたいと思い、日本での就職を目指しました。

—USEを知ったきっかけは？

フェン 大学院時代の指導教官に教えてもらいました。先生から紹介なので、いい会社だと確信していました。

トゥ 大学での就職活動を通じてUSEを知り、成長できる環境だと感じてインターンシップに応募しました。

ダット 大学の先生の紹介がきっかけです。USEのWEBサイトを見てすごく興味を持ったのですが、採用情報を見ると「今年の留学生採用は終了しました」と書いてあって、その時はすごく落ち込みました。それでも諦めきれず、オンライン説明会で「今からでも参加できますか？」と聞いてみたんです。そうしたら「まだ採用していますよ」と言っていただけで、とてもうれしかったです。

約束の時間に遅れない

日本人の規律正しさ

—日本に来て一番びっくりしたことは何ですか？

ヴィン 電車の時間がとても正確なことです。マップで調べるだけで、時間通りに移動できる

のはすごいです。

フェン その通りで、分刻みで運行する電車は、いつもすごいと思っています。それから、日本人の規律正しさに本当に驚きました。友達も約束の時間に遅れることはほとんどありません。

ダット ベトナムだと、2時間遅れとかも普通にありますからね(笑)。

トゥ 一番違いを感じたのは天気です。特に冬はすごく寒いと思いました。

ダット びっくりしたのはマンホールです。場所によってデザインがいろいろあり、面白いなと思って写真を撮っていたのですが、種類が多すぎて諦めました。

—日本でハマったものはありますか？

ヴィン 日本料理が好きになりました。最近は海鮮丼にハマっています。

フェン 日本のお寺です。京都に2年くらいいたので、よく友達とお寺に行き、そのたびに穏やかさを感じていました。

トゥ 最初は苦手でしたが、日本に来てからお刺し身が食べられるようになりました。今はとても気に入っています。

ダット 『NARUTO』です。日本語の勉強のために見始めたのですが、日常会話の表現も多くて、会話のレベルアップにもつながっていると思っています。

—休日の過ごし方を教えてください。

ヴィン 東京の町を歩きながら写真を撮ることが多いです。あとは家で動画を見てゆっくり過ごすこともあります。

フェン たまに大学時代の友達とピクニックしたりもしますが、ほとんどの時間は家でスナックを食べながら、映画を見てのんびり過ごしています。

トゥ 東京周辺を散歩したり写真を撮ったりして過ごしています。最近は桜を撮って、「春だな」と感じました。

ダット 休日はまず一週間分の食料品の買い出しをしています。余裕がある時は、家で飼っているニャン(猫)ちゃんとドライブデートをしたりしています。

—日本人の友人はできましたか？

ヴィン 少しずつできてきました。一緒に映画を見に行ったりご飯を食べに行ったりした時に、日本の文化をいろいろ教えてもらっています。

フェン 日本で最初の友人は、交換留学時のチューターで、彼女が空港まで見送ってくれたことが特に心に残っています。まだ日本になれず緊張していた私に「寝ていいよ、着いたら起こすから」と声をかけてくれ、安心して眠ることができました。今も胸が熱くなる思い出です。

トゥ 日本人の友人とカラオケに行きました。日本でのカラオケは初めてでしたが、とても楽し

い経験でした。自国でも親しんでいたメロディーだったので、『ドラえもん』の歌などを歌っていました。

社員を家族のように大切に文化を感じます

—USEで働いてうれしかったエピソードはありますか？

ヴィン 最初はミスも多くありましたが、努力するうちに任せられる仕事が増え、褒められる機会が多くなったことです。

フェン 課長が私の作ったアプリケーションを実際に使ってくれたことです。初めて作ったアプリだったので、かなりうれしかったです。

トゥ 自分が開発した機能が期待通りに動作した時、とてもうれしいと感じます。

ダット 社会人として初めてのプロジェクトが終わり、上司から「お客さまからOKをいただいた」という連絡をもらった時です。大変だった分、達成感も多くて「やって良かったな」と思いました。

—USEの「ここが好きだ」というところを教えてください

ヴィン 研修や資格取得支援など、スキルアップをしっかりとサポートしてくれるところです。

フェン 分からない時は「分からない」と言える環境です。私は文系出身なので最初は大変でした

が、トレーナーや同期がいろいろサポートしてくれるので安心しています。おかげで前より言語の壁によるコミュニケーションの負担も減ってきました。

トゥ スキルだけでなく、姿勢やコミュニケーション能力も成長できる環境です。周りに相談したり、分からないことを質問できる雰囲気があります。

ダット 新人に対しても丁寧に教えてくださるところです。USEには、社員を家族のように大切に文化と、安心して働ける環境があると感じています。

—これから入ってくるベトナム出身の後輩へアドバイスをお願いします。

ヴィン 最初は大変なことや不安もあると思いますが、USEには助けてくれる先輩や同期がたくさんいるので、ぜひ自分から一歩踏み出し、いろいろなことに挑戦してほしいです。

フェン セットアップ日本に来たのですから、ぜひ前向きに頑張ってください。努力する姿はとても素晴らしいと思います。

トゥ 目標を持って努力すれば、きっと成長できると思います。分からないことや不安なことがあれば相談してください。私たちも全力でサポートしますので、一緒に頑張りましょう。

ダット 新しい環境でいろいろ大変だと思いますが、若いうちに何でも挑戦してみてください！

クラウド開発第一

ヴォーティアントゥ

VO THI ANH THU

カントー大学でソフトウェアエンジニアリングを専攻。最近の趣味は、カフェでコーヒーを楽しむながら、友達とおしゃべりすることです。

公共ビジネス第二

グエンティカインフェン

NGUYEN THI KHANH HUYEN

ハノイ大学で日本語を専攻。在学中、奈良女子大学に交換留学し、卒業後、さらに京都情報大学院大学で学びました。美味しい食べ物が大好きです。

中部支社

グエンダーフックヴィン

NGUYEN DO PHUC VINH

母ベトナムのカントー大学で情報システムを勉強していました。散歩と写真撮影が趣味で、最近はきれいに咲いている桜を撮っています。

中部支社

レベットダット

LE VIET DAT

母国の日本語センターで約2年間勉強した後、長崎総合科学大学でプログラミングを学習。「すぐに人と仲良くなれるタイプ」と言われます。

新規事業創出アイデアソン

主催者×第1回 優秀賞受賞者座談会

社員の「やってみたい」や「挑戦してみたい」を実現するとともに、USEの新たな事業の柱を生み出すべく開催された、新規事業創出アイデアソン「USE Frontier X Challenge」。その第1回で見事優勝を飾ったのは、AIを活用した成長記録サービス「LIFELOG STORY」でした。本対談では、企画メンバー・チーム「スマイルズ」の3名と、主催者・吉弘宗義取締役役に、アイデアに磨きをかける過程やAI活用の実情、そして「挑戦と行動」をさらに具現化する組織文化の未来像などについて語ってもらいました。

USEの社員の皆さんがアイデアを発信できる場

—最初に、「アイデアソン」を実施した意図や、その背景を教えてください。

吉弘 最大の目標は、新規事業の創出と、社員の方々の成長支援です。会社としては「挑戦と行動」のもと、この企画から新しい事業の柱を作り上げ、新しいプロフィットセンターができれば、という期待があります。一方、個人的にUSEには大勢の優秀な社員がおられますのに、「皆さまが主体となってアイデアを出す場面が、あまりないのは残念だな」とも感じていました。そこで、皆さまが、発信できる場を提供したいという思いもあってこの企画を立て、今回は

「AI」を中心に、サブテーマとして「製造」「金融」「観光」「コンシューマ」の4構成で実施しました。そんな中、「コンシューマ」で優勝した「LIFELOG STORY」の紹介をお願いします。

佐藤 『記録はあるが物語はない』というキャッチフレーズのもと、写真や動画、一言メモをもとに、AIが人生の記録を「物語」として自動生成する成長記録サービスです。育児期から成人までの長期利用を前提とした感情価値型プロダクトとして企画しました。私事で恐縮ですが、昨年父が他界し、改めて、家族で写真を振り返る中で、一枚一枚に込められた思いや経験、当時の父の気持ちを知ることができたらとを感じる場面にも直面しました。こうした経験から、大切な人の人生をより深く振り返ることができるサービスとして、本アイデアを着想いたしました。

サービスにAIを活用するメリットと問題点

吉弘 今回参加して、得られたものがありましたら教えてください。

佐藤 新規事業のアイデアだしは、私自身も経験したことがない領域でした。事業を計画する上での考え方を初めて経験したので、すごく勉強になりました。

郡司 市場性や収益まで考える機会となり、普段の業務でも「この業務が誰の価値になるか」ということを考えるきっかけになりました。

清水 「あったらいいな」と思うものはいくつもありましたが、調べるとすでに似たサービスがあり、企画を立てるのが難しかったです。あと、考えが事業化したら、「自分、すごい!」と実感できそうで楽しいだろうなとも感じました。

吉弘 企画を進める上で、特に印象に残った場面はありますか？

郡司 「案が決まった瞬間」です。「これで行くんだ!」という思いとともに、一気に解像度が高まり、そのままどんどん前に進んでいったのが印象的でした。

佐藤 コンシューマという幅広いテーマの中で、アイデアを絞るところがすごく難しかったです。その過程も含めて、優勝できたのは感慨深いです。

清水 一つのテーマから、市場性やターゲットを分析しながらまとめていくプロセスが、新しい発見でした。

吉弘 AIを活用したサービスを企画して、どんな感想をもちましたか？

佐藤 AIは、普段の仕事でも利用していますが、今回、資料作成やターゲット層を絞ってアイデアを作り上げる過程にAIを用いたことで、スピード感が何倍も上がったのには改めて感動しました。

郡司 親が子どもの記録をする時、「データが断片的になってしまいがち」という課題に対しみごとに補完してくれるAIは、「最強の制作者」だと感じました。

清水 便利な一方、個人情報の扱いなどの課題もあり、AIの活用には、さまざまな問題があるのだなとも思いました。

記録はあるが、物語はないというキャッチーな切り口

佐藤 私たちからも伺いたいのですが、この「LIFELOG STORY」に高評価をいただいたポイントはどこですか？

吉弘 「事業将来性」「実現可能性」「アイデア力」「プレゼン力」の4点から、総合的に評価した結果です。審査員からは「記録はあるが、物語はない」という切り口が鋭くてキャッチーだという評価や、ビジネス化の実現性が高いというフィードバックをいただいています。私個人としては、自分があまり経験していなかった分野でしたので、「これがあると子どもとの触れ合い方もより楽しくなりそうだな」と思いました。

郡司 アイデアソンから出た案が、実際に事業化する時、企画したメンバーはどのように扱われるのでしょうか？

吉弘 本人たちのモチベーション次第ですが、

「サービスに関わりたい」という気持ちがあれば、組織として支援していきたいです。ところで皆さんは、この「LIFELOG STORY」がもし事業化されたら、どう関わりたいですか？

佐藤 企画の中で、利用者の声を反映し、より良いサービスを作り上げていくプロセスに関わりたいです。また、今はターゲットを子育て世代に絞っていますが、ゆくゆくは年齢層を広げ、冠婚葬祭など、さまざまなシーンで使えるように事業拡大することも視野に入れています。

郡司 PRの面で案を出したいのと、実際の利用者の声を聞いて改善するサイクルに携わりたいです。それに、サービス宣伝用のインスタグラムも運営したいと思います。

清水 コンシューマー向けサービスですので、普段とは違ったPRができるのも面白そうですね。

「アイデアソン」のような「場」を設けることが重要

清水 今回は初のアイデアソンでしたが、この企画が定着することで、今後USEにどんな変化が起ころとお考えですか？

吉弘 正直、組織文化や事業を大きく変えるという点では未知数です。ただ、社長が描く「自律と和」が浸透し、より現場が「やってみたい!」と言いやすい組織文化になればいいと思っています。

す。定着の成否より、むしろ「このような場を設けること」自体が重要なのだと考えています。2回目のアイデアソンも、すでに開催予定ですが、今回の参加を踏まえて、進め方に改善案などがあれば聞かせてください。

佐藤 率直に言いますと、もう少しスケジュールに余裕があると、より取り組みやすかったように感じています。

郡司 とても内容の濃い3日間でしたが、壁打ち役となるメンターの方が最初から付いていてくれたら、もっと効率は上がったのかなと思います。

清水 参加人数を増やすという観点で言えば、賞金を事前に公開するのもいいのかと思いました。

吉弘 皆さんの意見も取り入れながら、どんどんアイデアソンを良くしていきたいですね。

佐藤 最後に、宗義取締役は個人的に事業化してみたいアイデアはありますか？

吉弘 今、世界情勢が非常に困難な状況ですので、困っている人たちに支援や社会貢献ができるようなサービスがあればいいと思っています。



詳しくは
YouTubeを
ご覧ください!

経営企画部

吉弘 宗義

今後も「アイデアソン」のような企画を提案して、社員の皆さんと一緒に、USEをさらに盛り上げていきたいです。

総務部

佐藤 咲紀

優勝させていただいた「LIFELOG STORY」を提案しました。その他には、「冷蔵庫の中身がわかるサービス」があったら良いと思います。

広報部

郡司 朋見

山登りが趣味なので、山に行く日や装備を入力したら、登山の危険度を判定してくれるサービスを提案しました。

広報部

清水 菜月

AIドローンとVRグラスを組み合わせ、「タケコプター」で飛んでいるような体験ができるサービスの案を出しました。

あなたの声でつくるUSE REPORT

いつもUSE REPORTをご覧ください、ありがとうございます。
本誌は、読者のみなさまの声によって育てられています。
去年は、誌面づくりの参考とするためアンケートを実施し、
多くのご回答をいただきました。



2025年度 USE REPORTの「人気コンテンツ」TOP 3

- 1 中長期ビジョンのこれまでとこれから**
前年度の振り返りと今年度の目標などをわかりやすくまとめています。
- 2 USEの未来を作った5つの決断**
創業者自ら会社の歴史を振り返り、今の「USE」を形作った5つの重要なターニングポイントについて語っています。
- 3 PRESIDENT'S MESSAGE**
USEが今どんな未来を目指し、どのような想いで事業に向き合っているのかを
トップの言葉でありのままにお伝えしています。

2025年度のUSE REPORTはこちら



読者の皆さんから届いたメッセージ

VOICE1

自分の息子が会社に少しでも貢献していると思うと嬉しく感じます!いつも読むのが楽しみです!

VOICE2

子供が働く会社を知れてとても嬉しく思います。各支社の雰囲気も知りたいです。

読者の声に応えてパワーアップ!

今年は名古屋・大阪・広島・福岡の4拠点に迫る、特別クローズアップページを作成しました!



プレゼント企画 & アンケートご協力をお願い

今年もやります!

また今年も、アンケートにご回答いただいた方の中から
抽選で **4** 名様に各支社おすすめのお土産をプレゼントいたします!



アンケート回答方法

回答期限: 2027/03/31

※プレゼント企画に応募する方は2026/09/30までにご回答ください
※アンケートはどちらか一方の方法でご回答ください

WEBで回答

- 1** 二次元コードを読み込む 
- 2** スマホの画面からアンケートの回答を入力する
- 3** 送信ボタンを押す

同封のハガキで回答

- 1** 同封のハガキを手元に用意する
- 2** 回答をハガキに記入する
- 3** ハガキをポストへ投函する

発行日: 2026年7月24日(金) Copyright©USE All rights reserved
※社員の所属や組織体制は取材当時のものになります

当誌に掲載されている二次元コードは「くるくるマネージャー」を使用しており、以下の情報を取得します。これらの情報はアクセス解析にのみ使用されます。
cookie (一意の識別コードを付与) / IPアドレス (IPアドレスを基とした、簡易位置情報に変換後、IPアドレスは破棄) / 読取ったQRコードID (IDはクルクルマネージャー上で割り振ったもの) / 読み取り日時